

第 10 回 運営推進会議 議事録

令和 3 年 3 月 10 日

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」						
開催日時	令和 3 年 3 月 10 日 (水)						
開催場所	今回は第 10 回運営推進会議の内容を各参加者に閲覧していただき、意見を集約した。						
参加者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">利用者 1 名</td> <td style="width: 50%;">知見を有する者 1 名</td> </tr> <tr> <td>利用者家族 1 名</td> <td>地域包括支援センター 1 名</td> </tr> <tr> <td>地域住民の代表 1 名</td> <td>事業所職員 1 名</td> </tr> </table>	利用者 1 名	知見を有する者 1 名	利用者家族 1 名	地域包括支援センター 1 名	地域住民の代表 1 名	事業所職員 1 名
利用者 1 名	知見を有する者 1 名						
利用者家族 1 名	地域包括支援センター 1 名						
地域住民の代表 1 名	事業所職員 1 名						
議題	1 運営推進会議の目的 2 運営状況 3 事故報告 4 主な活動 5 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み 6 運営委員からの評価						

会 議 録

1 運営推進会議の目的

地域に開かれたサービスや介護保険サービスの質の確保を図ることを目的とし、利用者様やその家族、地域住民の代表などに提供している介護サービスの内容を明らかにする。出席者の皆様にはサービスの内容の報告に対して意見を頂いたり、事業所に対する要望や助言等忌憚のないご意見を頂いたりする。

2 運営状況

(1) 利用定員 午前・午後各 13 名の半日型デイサービス。1 日利用者平均人数 午前 8 名、午後 6 名

(2) 提供時間 3 時間 5 分

(3) 利用者の状況(令和 3 年 3 月 31 日現在) 利用者人数:41 名 (男性 17 名・女性 24 名)

対象者 要支援 1: 0 名 要支援 2: 3 名

要介護 1: 3 名 要介護 2: 20 名 要介護 3: 12 名 要介護 4: 3 名 要介護 5: 1 名

※コロナ感染拡大に伴い、12 月上旬頃より再び利用を自粛されるご利用者様が 5 名おり、

ご利用数が減少した。いずれもご自分の意志がはっきりしているご利用者様が自粛されている。

(4) 加算 個別機能訓練加算Ⅱ 処遇改善加算Ⅰ 入浴加算 (希望者のみ)

サービス提供体制加算Ⅱ 中重度者ケア体制強化加算

介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ 口腔機能向上加算

※令和 3 年 4 月より介護保険法改正

・基本報酬や加算の見直し (デイサービスとしては報酬微増)

① 感染対策の強化…委員会の開催、指針の整備、研修の実施、訓練の実施等

② 業務継続の取り組みの強化…事業所継続計画(BCP)の作成

③ 高齢者虐待の防止の推進

上記 3 つは 3 年間の経過処置のため、随時社内で整備・作成を進めています。

・災害への地域と連携した対応の強化

引き続き自治会長とも相談しながら進めいきたいと考えています。

3 事故報告

R2.11.9

【内容】 ご利用者様をお送りする際、送迎車に乗車介助していたところ、助手席に先に座っていたご利用者様がドアを閉めた時に、乗り込んでいた方の左手がピラー部分にあり、薬指を挟んでしまった。

【対応】 すぐに挟んだ左手の薬指を確認したところ、痛みがあったが内出血などはなかったため様子観察とした。その後自然治癒された。

【今後の対策】 先に乗ったご利用者様のドアを確実に職員が閉めてから次のご利用者様を乗車させるようにする。

R3.1.20

【内容】 デイが終了し、ご利用者様が一斉に立ち上がり、そのご利用者様も立ち上がった際、バランスを崩し右側から転倒された。眼鏡をかけていたため転倒の際に右額の亀裂、右目周辺に擦り傷を負う。

【対応】 すぐに職員がご利用者様を起し、ケガの確認、痛みの有無の確認を行った。右目周辺に擦り傷、右眉上部に 0.5 cm程の亀裂、その他の外傷はなかった。消毒、ガーゼ保護を行う。ケガの経過を観察し、その後治癒された。

【今後の対策】 職員同士でご利用者様の状況を確認し、見守りの強化、危険を予知した行動をとる。

※事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うとともに、発生した日のうちに職員間で原因対策等の話し合いを行い、再発防止に努めている。

4 主な活動

- ・機能訓練指導員による個別機能訓練、ご利用者様のレベルに合わせた脳トレの実施
- ・口腔機能向上サービスの実施
(歯科医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービス看護師による指導)

※昨年2月よりサービスをスタートし、口腔機能向上に関する情報提供、口腔体操、嚥下体操、歯磨き支援などの口腔ケアの実施、評価を行った。

平均値のまとめの結果、舌苔の減少(清潔度)、舌圧の数値、舌や唇の機能のアップなどの向上が見られた。また、1年間風邪や誤嚥性肺炎の発症が見られなかった。

3月からは嚥下訓練を中心に指導を行い、3か月後にRSST検査にて結果の評価を実施予定(30秒間に何回ゴックンと飲み込む動作ができるかの検査)

口腔内の清潔や機能の向上により、誤嚥性肺炎や心疾患、歯周病からくる認知症など、身体全体の健康に影響すると言われている。今後も口腔機能向上に向けて活動を継続していく。

- ・手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成
土鍋料理の貼り絵を作成し、作品展に出展(市役所ロビーにて)
- ・10月、11月にコロナ感染防止を配慮しての外出レクリエーションの実施
昇仙峡、小瀬、緑が丘、市役所へ作品展の見学など
- ・防災訓練の実施 R2.10.14 15:30～ 震度6地震発生を想定した訓練。
- ・地域との交流…「子ども110番」は今まで通りに実施していく。

5 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する取り組み

(37.5℃以上)が見られた場合には来所を控えていただく。

- ・職員も同様、毎日2回の検温、発熱が認められた場合には出勤停止とする。
- ・職員は感染予防に努め、不要不急の外出を控える。
- ・手洗い、うがいの徹底
- ・サービス時間中の職員、ご利用者様全員のマスク着用を徹底
- ・職員の入浴介助時のフェイスシールド・マウスシールド使用
- ・定期的な部屋の換気(1時間ごとに5~10分)を行う。
- ・室内の消毒(椅子・テーブル・テーブルの淵・手すり・水回り・平行棒・ドアノブ他)
- ・会話に伴う飛沫感染防止のためのシールドカーテンの設置
- ・座席の工夫による感染防止。
- ・送迎車の送迎前後の消毒(ドア・ハンドル・手すり・シート等)

6 運営委員からの評価

(利用者)

一人一人合わせた訓練ができてありがたいです。歯医者さんも来てくださり、助かります。ここが大好きなのでずっとお世話になりたいです。

(利用者家族)

今のままでいいと思います。今後も継続でお願いしたいです。

(地域包括支援センター)

運営推進会議に対するご意見を求めたところ、いくつかの確認事項があったため、回答を行った。

※詳細は別紙参照

(地域住民の代表)

地震等災害時の対応を地域として取り組み、強化したいところですが、このコロナ感禍で自治会として地域全体の訓練も実施できない状況です。状況が改善されるまでは施設単位になりますが、入居者の安全に、より一層配慮していただきたいと思います。

(知見を有する者)

コロナ感染予防で施設内の対策も大変な中、しっかりとした対策をしているので安心です。

私の利用者さんにも感染拡大になった時に休止をした方がいらっしゃり、歩行が不安定になど筋力低下になる、外部との交流がなくなることで不安増になり、コロナ感染対策を行っていることを伝えるが「かかったら困る、怖い」と言われると「絶対大丈夫」とはリスクがあるので言えずに、自己決定を尊重するしか手立てがなく見守っています。

現在すみよしさんを利用している利用者さんは家族支援が必要な方で、急な変更が増える、減る、送迎時間がうまくいかないなど対応に応じてくださり、本人、家族の負担軽減になっていてありがたいです。今後もコロナ感染対策だけでなく事故予防を行いながら、ADLの維持向上や本人、家族の思いに寄り添える介護が継続できるよう、今後もよろしく願いいたします。